

科目名	臨床免疫学実習 (Practice in Clinical Immunology)			科目コード	432
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次前期	関連DP	臨③④⑤
担当教員	山田 武司、荒川 裕也、佐川 輝高				
授業概要	抗原抗体反応の特性を定量沈降反応により習得し、また種々の方法による抗原定量法、および抗体定量法を教授する。さらに補体結合反応、凝集阻止反応、標識抗体法などの方法を用いて感染症検査、および抗核抗体検査について教授する。				
授業目標	基本的な試験管内抗原抗体反応を学び、それらを利用した検査法の原理と基本的手技について修得する。また感染症診断をはじめとする各種抗原、抗体測定に免疫学的検査法が利用されていることを知ると共に、医学検査領域における免疫検査学分野の重要性を理解する。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1～2	免疫学的検査	免疫検査の基礎技術(検体採取と保存)、免疫化学的定量法(ELISA法)など	山田武司 荒川裕也 佐川輝高
3～4	感染症の検査	ゼラチン凝集法によるHIV抗体スクリーニング検査、イムノクロマトグラフィー法によるHBs抗原検査など	
5～6	炎症と炎症マーカーの検査	CRP検査および血清アルブミン測定など	
7～8	腫瘍と腫瘍マーカーの検査	腫瘍マーカーの測定(hCGなど)	
9～10	アレルギー疾患の検査	総IgEの測定など	
11～13	自己免疫疾患の検査	蛍光標識抗体法による抗核抗体の検出	
14～16	免疫グロブリン異常症の検査	免疫電気泳動法によるM蛋白の同定	
17～18	補体系の検査	溶血反応による血清補体価(CH50)の測定	
19～22	免疫機能検査	リンパ球サブセット検査、フローサイトメトリー法など	
23	検査結果の解析と評価	検査結果の解析と評価方法について	
成績評価方法	レポートおよび出席で判定する。		
教科書	加藤亮二・利光央・編「免疫検査学実習書」(医歯薬出版)、配布プリント		
参考図書等	JAMT「臨床免疫検査 技術教本」(丸善出版)、窪田哲朗・編「免疫検査学」(医歯薬出版)、必要に応じてプリントを配付する。		
授業時間外の学習について	実習の入る前に、項目ごとに作業内容について必ず予習する。実習レポートは課題も多く、授業時間内に終わらないため授業時間外でも作業を行う。		
関連科目	430 免疫学 ⇒ 431 臨床免疫学 ⇒ 432 本科目 (その他) 共通科目 122 生物学、128 生命科学 専門科目 424 微生物学、425 臨床微生物学 I、411 血液学、412 臨床血液学		
備考	実 荒川：臨床検査技師(医療機関)		